

令和8年度 港区政策評価シート

1 政策名・所管部門

政策No	15	政策名	健やかな子どもの「育ち」を支える環境を整備する
所管部	子ども家庭支援部	関係部	

2 政策のめざす方向性

全ての子どもが安全で安心して過ごせる居場所を確保し、学童期から青年期までの子どもの成長、発達、個性に応じた、多様できめ細かな支援を行います。児童虐待未然防止対策やいじめ防止対策を推進し、全ての子どもの権利の保障と、子どもの最善の利益を考慮した施策を推進します。多様な生活スタイルに対応した家庭環境づくりの支援や、ひとり親家庭の支援を充実させるとともに、社会全体で子育てを支える体制の整備、子どもの未来を応援する施策を推進し、健やかな子どもの「育ち」を支える環境を整備します。

SDGsとの関係									
----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---

3 成果指標【政策について満足している区民の割合】

指標の推移		計画目標値	達成度 ※	※評価区分 A：達成（達成度が100%以上） B：相当程度達成（達成度が70%以上100%未満） C：未達成（達成度が70%未満）
現状値	実績			
令和2年度	令和7年度	令和8年度		
32.2%	40.3%	40.7%	B	
これまでの取組と成果	令和6年4月の児童福祉法の改正によりこども家庭センターを設置し、母子保健と一体的に相談支援を行うとともに、関係機関と連携し、虐待の未然防止に努めました。			
課題と今後の方向性 ※未達成の場合は原因分析を含む	更に多様化・複雑化する子どもや家庭に関するニーズに対応するため、関係機関と連携する体制を基盤に子どもの権利擁護に取り組み、区民満足度のさらなる向上に取り組みます。			

4 施策の取組状況【施策評価結果】（詳細は別紙「施策評価シート」）

No	施策名	成果指標	施策評価
①	子どもの健やかな成長を支援する総合的な施策の推進	放課後児童支援員資格取得率	A
②	子どもの権利擁護を重視した環境づくり	子どもの「子どもの権利」の認知度	A
③	支援が必要な子どもと家庭を確実に支える	支援を求める子どもや家庭からの新規相談受理件数	C
④	子ども・子育て支援に関するネットワークづくりの推進	港区子ども・おとな・地域みなトーク事業参加者の新規子育て支援活動の実施累計数	A
⑤	子どもの未来を応援する施策の推進	学習支援事業への満足度	A
		子ども食堂ネットワーク会員数	

5 予算額・決算額・執行率（単位：千円）			
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算額	11,525,235	15,213,438	15,857,123
流用・補正	△173,520	2,266,956	-
決算額	11,048,662	16,795,586	-
執行率	97.73%	96.08%	-
6 政策を取り巻く社会経済情勢等			
計画期間中の社会経済状況等の変化 ・社会経済状況、人口動向、財政状況、国や東京都等の動向など	令和5年12月には、子ども施策を総合的に推進するための「こども大綱」、少子化や人口減少を反転させるための「こども未来戦略」が策定され、「こどもまんなか社会」の実現に向けた取組は、最優先で取り組むべき重要事項の一つとされています。		
区民ニーズ等 ・区民意識調査 ・区民から寄せられた意見 など	港区子ども・子育て会議では、虐待の未然防止やヤングケアラーの早期把握及び適切な支援の実施に向け、関係機関と連携を図り、具体的な支援に繋げるよう意見がありました。		
7 所管課による評価【一次評価】			
政策の達成状況	・政策の目指す方向性に掲げる全ての子どもの権利の保障について、子どもの権利擁護を重視した環境づくりに積極的に取り組み、子どもの「子どもの権利」の認知度の目標が達成されました。 ・政策全体として、子ども・子育て支援に関するネットワークづくりの推進や子どもの未来を応援する施策の推進が目標値に到達するなど、政策目的を概ね達成できています。		
達成状況の要因 ・施策の有効性が高かった点 ・施策の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	・施策「子どもの権利擁護を重視した環境づくり」の子どもの「子どもの権利」の認知度の取組について、年齢に応じた内容のリーフレットを作成するなど、大きな成果を得られました。 ・施策「子ども・子育て支援に関するネットワークづくりの推進」の港区子ども・おとな・地域みなトーク事業について、父親や外国籍住民も参加しやすいよう、開催方法や内容に工夫を凝らし、大きな成果を得られました。		
課題と今後の方向性	国の動きを踏まえ、社会全体で子育てを支援するネットワークの整備を推進することや子どもの権利擁護の周知はもとより、子どもの意見を積極的に区政に活かせるような取組の充実を図ります。		
8 港区行政評価委員会による評価【二次評価】			
評価	A：政策目的を達成		
政策の達成度	・成果指標「支援を求める子どもや家庭からの新規相談受理件数」は、他の制度の影響も受けやすい点に留意が必要です。 ・成果指標「学習支援事業への満足度」は、計画目標値が99%と高い指標に設定されていることに留意が必要です。 ・成果指標の設定に課題はあるものの、施策に対する区民からの評価が高いことを踏まえると、評価は「A」に値します。 →以上を踏まえ、評価は「A」とします。		
MINATOビジョン策定に向けた今後の政策の方向性 ・重点的に取り組むべき施策 など	・子ども食堂は、貧困の解消に加え、子どもの孤食解消や保護者支援、地域との関係性構築など様々な役割を担っており、その趣旨を適切に示せるよう、事業目的を整理する必要があります。 ・子どもと一緒に参加することができるイベントを多く開催していることは評価でき、今後の施策の成果指標については、イベント参加者へのアンケートにより把握するべきです。 ・成果指標「支援を求める子どもや家庭からの新規相談受理件数」については、他の制度の影響も踏まえた指標に見直すべきです。 ・成果指標「学習支援事業への満足度」については、適正な計画目標値を設定する必要があります。		

施策評価シート

政策No	15	政策名	健やかな子どもの「育ち」を支える環境を整備する
施策No	①	施策名	子どもの健やかな成長を支援する総合的な施策の推進
目標・期待する成果	放課後に子どもが安心して過ごすことのできる安全な居場所を確保し、その質の向上に取り組むことで、児童の心身ともに健やかな育ちを支援します。また、子どもが犯罪や災害等に巻き込まれない安全で安心な環境の確保をめざします。		
SDGsの ゴールとの 関係	      		
施策担当課	子ども若者支援課		関係課

1 成果指標の達成度

成果指標①		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和8年度は見込み）			
		令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
放課後児童支援員資格取得率		50%	70.0%	73.0%	92.2%	95.0%	80%
	達成度	当該年度の実績と成果			課題と今後の方向性 （未達成の場合は原因分析を含む）		
令和6年度	a	令和6年度東京都放課後児童支援員認定資格研修に、児童館・学童クラブ等の職員66名が資格取得のため受講しました。			令和7年度も引き続き、東京都放課後児童支援員認定資格を未修了の職員に資格取得の研修受講を促し、取得率の向上をめざします。		
令和7年度	a	令和7年度東京都放課後児童支援員認定資格研修に、児童館・学童クラブ等の職員49名が資格取得のため受講しました。			令和8年度も引き続き、東京都放課後児童支援員認定資格を未修了の職員に資格取得の研修受講を促し、取得率の向上をめざします。		
令和8年度	a	引き続き、東京都放課後児童支援員認定資格を未修了の職員に資格取得の研修受講を促し、取得率の向上をめざします。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）
c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

成果指標②		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和8年度は見込み）			
		令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	達成度	当該年度を取組と成果			課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和6年度							
令和7年度							
令和8年度							

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）

c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

2 施策評価

評価	A：計画目標を達成できる
施策の達成状況	子どもの健やかな成長を支援する総合的な施策の推進においては、放課後児童支援員認定資格研修の受講促進により資格取得率が向上するなど、放課後の安全・安心な居場所の質の向上が図られました。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	令和5年度第2期より、東京都放課後児童支援員認定資格研修にオンライン講習が導入され、希望者が受講できる環境が整備されたことにより、研修時間の確保が困難な職員の受講促進となり、取得率の増加につながりました。
MINATOビジョン策定に向けた課題と今後の方向性	引き続き、放課後児童支援員を確保するため、研修受講希望者が受講しやすい環境整備に積極的に取り組んでいきます。

A：計画目標を達成できる（成果指標（平均）の達成度100%以上）

B：計画目標を相当程度達成できる（成果指標（平均）の達成度70%以上100%未満）

C：計画目標を達成できない（成果指標（平均）の達成度70%未満）

施策評価シート

政策No	15	政策名	健やかな子どもの「育ち」を支える環境を整備する
施策No	②	施策名	子どもの権利擁護を重視した環境づくり
目標・期待する成果	全ての子どもの権利を擁護し、児童虐待未然防止対策等を推進するとともに、保護者の適切な養育を受けられない子どもや、養育に困難を抱える家庭、ヤングケアラーへの支援を充実させることで、一人ひとりの健やかな成長や発達、自立が保障された環境の実現をめざします。		
SDGsのゴールとの関係	     		
施策担当課	子ども家庭支援センター		関係課 児童相談課、教育指導担当

1 成果指標の達成度

成果指標①		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和８年度は見込み）			
		令和２年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	
子どもの「子どもの権利」の認知度		57.2%	38.4%	72.0%	66.3%	80.0%	80.0%
	達成度	当該年度の取組と成果			課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和６年度	a	年齢に応じた内容のリーフレット（低学年向け漫画リーフレット等）を作成・配布したことで、特に低学年の認知度が大きく向上し、「子どもの権利」に関する小中学生全体の認知度も前年より30%以上高まりました。			「子どもの権利」に関する啓発物の配布を通じて、さらなる認知度の向上を図る必要があります。特に、学年によって認知度に差が見られることから、今後も引き続き、年齢や発達段階に応じた分かりやすい啓発資料を作成・配布していくことが求められます。		
令和７年度	b	昨年度から継続して、学年及び年齢に応じたリーフレット等を作成・配布し、周知を実施し、その結果、小中学生全体の認知度は66.3%となりました。計画目標には届かず、昨年度と比較して減少しました。			目標未達の要因として、配布後にリーフレットの内容（相談先・対応方法等）に触れる機会が限定的で、継続的な想起につながりにくかったこと、周知の接点が特定の時期・場面に偏った可能性があることが考えられます。		
令和８年度	a	令和8年度は、配布時期・方法の標準化を行います。また、年間を通したパネル展示を行うことで、啓発情報に触れる機会を増やします。さらに、子どもが参加するイベントで、リーフレット内容や相談先情報を繰り返し周知できる機会を確保します。以上の改善を行い、認知度80%の達成を目指します。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）
c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

成果指標②		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和8年度は見込み）			
		令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	達成度	当該年度を取組と成果			課題と今後の方向性 （未達成の場合は原因分析を含む）		
令和6年度							
令和7年度							
令和8年度							

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）

c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

2 施策評価

評価	A：計画目標を達成できる
施策の達成状況	計画目標値である80%を令和8年度に超える見込みです。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	年齢に応じた内容のリーフレットを作成・配布したことが主な要因です。
MINATOビジョン策定に向けた課題と今後の方向性	結果を踏まえ、内容や周知方法について改善を図るとともに、継続的な周知に取り組み、さらなる認知度の向上を図る必要があります。

A：計画目標を達成できる（成果指標（平均）の達成度100%以上）

B：計画目標を相当程度達成できる（成果指標（平均）の達成度70%以上100%未満）

C：計画目標を達成できない（成果指標（平均）の達成度70%未満）

施策評価シート

政策No	15	政策名	健やかな子どもの「育ち」を支える環境を整備する
施策No	③	施策名	支援が必要な子どもと家庭を確実に支える
目標・期待する成果	児童虐待や非行、DVなどの問題を抱えた家庭や、ひとり親など支援が必要な家庭に対し、子ども家庭支援センターが関係機関と連携して総合的な支援を行うことで、自立した健全な子育てができる家庭環境づくりをめざします。離婚によって子どもが受ける心理的・経済的負担を最小限にとどめ、子どもの健やかな成長を促すために、養育費の継続的な受け取りや適切な親子交流の実施を図ります。		
SDGsのゴールとの関係	   		
施策担当課	子ども家庭支援センター	関係課	

1 成果指標の達成度

成果指標①		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和８年度は見込み）			
		令和２年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	
支援を求める子どもや家庭からの新規相談受理件数		2,416件	2,522件	2,236件	2,298件	2,300件	2,740件
	達成度	当該年度の取組と成果			課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和６年度	b	こども家庭センターを設置し、母子保健と一体的に相談支援を行い、虐待の未然防止に努めました。また、家庭におけるDVなどの問題には、相談員がきめ細かく対応し、関係機関と連携して必要な支援を行いました。			引き続き、関係機関と連携しながら支援につなぎ、丁寧な対応をするとともに、養育費の継続的な受取や適切な親子交流につなげるため、様々な機会で開催前後の親支援事業を周知することで、指標の達成を目指します。		
令和７年度	b	こども家庭センターとして母子保健と一体的に相談支援を行うとともに、関係機関と連携し、虐待の未然防止に努めました。また、家庭におけるDVやひとり親世帯等が抱える問題には、相談員がきめ細かく対応し、関係機関と連携して必要な支援を行いました。			こども家庭センターとして、サポートプランの作成に努め、適切な支援に確実に繋がります。また、養育費の受取や適切な親子交流につなげるため、共同養育制度とともに離婚前後の親支援事業を周知することで、指標の達成を目指します。		
令和８年度	c	こども家庭センターとして、子ども自身や保護者と一緒にサポートプランを作成し、ニーズに応じた総合的な支援を行います。また、家庭の状況や困りごとを相談員が丁寧に聞き取り、関係機関と連携して必要な支援を行います。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）
c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

成果指標②		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和８年度は見込み）			
		令和２年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	
	達成度	当該年度の実組と成果			課題と今後の方向性 （未達成の場合は原因分析を含む）		
令和６年度							
令和７年度							
令和８年度							

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）

c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

2 施策評価

評価	C：計画目標を達成できない
施策の達成状況	新規受理事件の目標値が2,740件に対して、令和7年度は2,298件となっており、直近数年の傾向を見ると計画目標値に達することは難しい状況です。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	子どもの相談、家庭の相談ともに、一定の件数で大きな増減なく推移しています。これは、様々なサービスを充実してきたことにより、相談になる前に困りごとが解決しているケースも一定数あると考えられます。 子どもの相談については、子ども家庭支援センターの受理事件が減少した分、児童相談所が同等数増加している状況があります。
MINATOビジョン策定に向けた課題と今後の方向性	今後、更に多様化・複雑化する子どもや家庭に関するニーズに対応するため、関係機関と連携した継続的な相談支援体制の構築や、離婚を考えている世帯やひとり親家庭への相談窓口の整理や生活を支えるサービスの充実に取り組む必要があります。

A：計画目標を達成できる（成果指標（平均）の達成度100%以上）

B：計画目標を相当程度達成できる（成果指標（平均）の達成度70%以上100%未満）

C：計画目標を達成できない（成果指標（平均）の達成度70%未満）

施策評価シート

政策No	15	政策名	健やかな子どもの「育ち」を支える環境を整備する
施策No	④	施策名	子ども・子育て支援に関するネットワークづくりの推進
目標・期待する成果	子どもや子育て支援者、子育て当事者、地域が事業をととして、対話の場を設けることで、世代を超えた地域のネットワークを構築します。		
SDGsの ゴールとの 関係	   		
施策担当課	子ども家庭支援センター	関係課	子ども政策課、子ども若者支援課、教育指導担当

1 成果指標の達成度

成果指標①		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和８年度は見込み）			
		令和２年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	
港区子ども・おとな・地域みなトーク事業参加者の新規子育て支援活動の実施累計数		60件	92件	114件	119件	131件	120件
	達成度	当該年度を取組と成果			課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和６年度	a	令和６年度は、「みなトーク懇談会」及び区内各地区で計５回「おしゃべりタイム」を実施しました。「みなトーク懇談会」では、幅広い世代の参加を得て、子育てや地域課題に関する自由な意見交換が行われました。また、「おしゃべりタイム」においては、子育て中の方々が気軽に集い、地域のつながりを深めるとともに、支援ネットワークの構築に寄与しました。			令和７年度は、より区民の実情に即した懇談会テーマの設定に向けて、「みなトーク懇談会実行委員会」を新たに立ち上げる予定です。「おしゃべりタイム」では、父親や外国籍住民も参加しやすいよう、開催方法や内容に工夫を凝らし、更なる参加促進を図ります。		
令和７年度	b	令和７年度は、区内５地区で「おしゃべりタイム」を計６回実施しました。「おしゃべりタイム」では、子育て中の方々が交流し、身近な相談や情報交換が行われるとともに、地域の支援者・関係機関とのつながりが生まれるなど、幅広い支援ネットワークの構築に寄与しました。これらの取組を通じて、参加者による新規の子育て支援活動の実施につながり、令和７年度末の実施累計数は119件となりました。			令和7年度末時点の実施累計数は119件となり、令和8年度の計画目標値120件の達成まで、残り1件となっています。今後は計画の変わり目として、子育てを家庭のみで抱え込まず、地域みんなで支える「顔の見える子育て支援ネットワーク」の構築を重点として取り組みます。		
令和８年度	a	令和8年度は、「おしゃべりタイム」を年間を通して、計12回実施するとともに、試行で得られた知見を踏まえ、参加者の参画促進、担い手・場の確保、役割分担や運営ルールの整理などを進め、地域のつながりを基盤とした支援体制の強化を図ります。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）

c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

成果指標②		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和８年度は見込み）			
		令和２年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	
	達成度	当該年度 of 取組と成果			課題と今後の方向性 （未達成の場合は原因分析を含む）		
令和６年度							
令和７年度							
令和８年度							

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）

c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

2 施策評価

評価	A：計画目標を達成できる
施策の達成状況	計画目標値が120件に対して、令和7年度が119件となっており、令和8年度で、計画目標値を達成できる見込みです。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	令和7年度の「みなトーク懇談会」及び「おしゃべりタイム」の実施形態及び実施回数が達成状況の主な要因です。
MINATOビジョン策定に向けた課題と今後の方向性	令和9年度以降は実施形態を変更していく予定です。

A：計画目標を達成できる（成果指標（平均）の達成度100%以上）

B：計画目標を相当程度達成できる（成果指標（平均）の達成度70%以上100%未満）

C：計画目標を達成できない（成果指標（平均）の達成度70%未満）

施策評価シート

政策No	15	政策名	健やかな子どもの「育ち」を支える環境を整備する
施策No	⑤	施策名	子どもの未来を応援する施策の推進
目標・期待する成果	全ての子どもが、夢と希望を持って成長していける地域社会を実現するため、地域が一体となって子どもの未来応援施策を推進していく体制を整備します。		
SDGsの ゴールとの 関係	    		
施策担当課	子ども若者支援課		関係課 生活福祉調整課、子ども家庭支援センター

1 成果指標の達成度

成果指標①		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和８年度は見込み）			
		令和２年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	
学習支援事業への満足度		97%	98%	98%	99%	99%	99%
	達成度	当該年度の実組と成果			課題と今後の方向性 （未達成の場合は原因分析を含む）		
令和６年度	a	生活困窮世帯の中学生に対し区内８カ所、高校生は区内２カ所で、学習支援事業を実施しました。			引き続き、学習の支援だけでなく、居場所づくり、日常生活の支援、親への養育支援等を通じて、将来の自立に向けたきめ細かな支援を行います。		
令和７年度	a	生活困窮世帯の中学生に対し区内８カ所、高校生は区内２カ所で、学習支援事業を実施しました。			引き続き、学習の支援だけでなく、居場所づくり、日常生活の支援、親への養育支援等を通じて、将来の自立に向けたきめ細かな支援を行います。		
令和８年度	a	生活困窮世帯の中学生に対し区内８カ所、高校生は区内２カ所で、学習支援事業を実施します。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）
c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

成果指標②		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和８年度は見込み）			
		令和２年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	
子ども食堂ネットワーク会員数		45団体・個人 人	65団体・個人 人	78団体・個人 人	83団体・個人 人	88団体・個人 人	85団体・個人 人
	達成度	当該年度取組と成果			課題と今後の方向性 （未達成の場合は原因分析を含む）		
令和６年度	a	区ホームページに「港区子ども食堂ネットワーク加入団体一覧」及びMAPを掲載し、子ども食堂やフードパントリーの周知に努めました。			物品寄付などの支援をしていただいている企業等にも港区子ども食堂ネットワークに参加いただき、子ども食堂やフードパントリーと連携を図ることで支援を拡充し、より会員数を増やします。		
令和７年度	a	区ホームページに「港区子ども食堂ネットワーク加入団体一覧」及びMAPを掲載し、子ども食堂やフードパントリーの周知に努めました。			物品寄付などの支援をしていただいている企業等にも港区子ども食堂ネットワークに参加いただき、子ども食堂やフードパントリーと連携を図ることで支援を拡充し、より会員数を増やします。		
令和８年度	a	区ホームページに「港区子ども食堂ネットワーク加入団体一覧」及びMAPを掲載し、子ども食堂やフードパントリーの周知に努めます。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）

c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

2 施策評価

評価	A：計画目標を達成できる
施策の達成状況	学習支援事業への満足度は、令和7年度時点で計画目標値を達成しており、引き続き、きめ細かな支援を通じて高い満足度につなげていきます。子ども食堂ネットワーク会員数も毎年5以上の増加傾向にあり、計画目標値を達成する見込みであることから、子どもが夢と希望を持って成長していける地域社会の実現が図られました。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	学習の支援だけでなく、将来の自立に向けたきめ細かな支援を行うことにより、高い満足度につながりました。令和7年4月に港区子ども食堂推進事業補助金の拡充を行い、港区の子ども食堂がより活動しやすい環境を整備したことで、港区子ども食堂ネットワーク会員数の増加につながりました。
MINATOビジョン策定に向けた課題と今後の方向性	引き続き、学習の支援に限らないきめ細かな支援や、子ども食堂に関する情報発信、活動しやすい環境づくりが必要です。

A：計画目標を達成できる（成果指標（平均）の達成度100%以上）

B：計画目標を相当程度達成できる（成果指標（平均）の達成度70%以上100%未満）

C：計画目標を達成できない（成果指標（平均）の達成度70%未満）